



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年11月4日

上場会社名 東海染工株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 3577 URL <http://www.tokai-senko.co.jp>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 八代 芳明  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 津坂 明男 TEL 052-856-8141  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月6日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	8,008	5.5	371	91.5	312	40.2	126	54.1
27年3月期第2四半期	7,589	0.0	193	240.6	222	344.0	82	—

(注) 包括利益 28年3月期第2四半期 186百万円 (△2.5%) 27年3月期第2四半期 191百万円 (13.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	3.71	—
27年3月期第2四半期	2.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	14,898	6,334	39.7
27年3月期	15,332	6,307	38.7

(参考) 自己資本 28年3月期第2四半期 5,911百万円 27年3月期 5,928百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

平成28年3月期の期末の配当予想につきましては、現時点では未定であります。

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,400	0.4	770	1.3	750	0.2	460	△0.3	13.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、(添付資料) 4 ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年3月期2Q	36,142,529株	27年3月期	36,142,529株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	2,079,918株	27年3月期	2,075,905株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年3月期2Q	34,065,140株	27年3月期2Q	34,073,618株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続を終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、(添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、政府による経済政策や金融緩和策によって景気は緩やかな回復基調が続いておりましたが、8月以降に鮮明化した中国経済の減速に伴う世界的な金融市場の不安定化などにより、景気の先行きは不透明感が強まりました。

染色加工業界におきましては、国内では、繊維製品の海外生産シフトによる構造的な需要減少や原材料価格の高止まりによって引き続き厳しい事業環境が続いております。また、これまで繊維・衣料品の需要拡大が続いていた東南アジアでも、とりわけ当社が進出しているインドネシアでは、ルビアン安進行によって個人消費の落ち込みが顕著になるなど景気が減速していることに加え、タイでも、経済停滞の長期化によって内需が低迷しており、厳しい状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、主力の染色加工事業にて、コスト面で国内・海外の各生産拠点において原価低減への取り組みをより一層強化するとともに、収入面では、インドネシアで内地需要を積極的に取り込む一方で、フィリピンで新たな顧客開拓を進めるなど、東南アジアにおいて更なる販路拡大に取り組んでおり、グループ全体で収益確保に努めました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8,008百万円（前年同期比5.5%増、419百万円増）となり、第2四半期連結累計期間としては3期連続で増収となりました。これは順調に業績を拡大しているインドネシア子会社の増収効果に加え、縫製品販売事業、保育サービス事業の増収が寄与したことによります。

利益面では、営業利益371百万円（前年同期比91.5%増、177百万円増）、経常利益312百万円（前年同期比40.2%増、89百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益126百万円（前年同期比54.1%増、44百万円増）となり、インドネシア子会社の大幅な増益と保育サービス事業の業績改善によって各利益段階で増益を確保しております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

## ①染色加工事業

染色加工事業は、売上高は6,076百万円（前年同期比1.8%増、107百万円増）と増収となり、営業利益は275百万円（前年同期比121.4%増、151百万円増）と各生産拠点で進めているコスト削減活動が功を奏して大幅な増益となりました。

染色加工事業における部門別（加工料部門、テキスタイル販売部門）の業績は次のとおりであります。

## （加工料部門）

加工料部門の売上高は4,712百万円（前年同期比6.9%増、303百万円増）となり、インドネシア子会社の増収によって加工料部門全体で増収となりました。

国内では、織物加工分野は、ユニフォーム用途向けにプリント加工の受注が好調に推移し売上を伸ばしましたが、編物加工分野が、プリント・無地染加工ともに婦人衣料用途向けの受注が低迷したことで減収となった結果、国内加工料部門全体では減収となっております。

海外では、タイ子会社が、景気停滞により主力のタイ国内向け受注が低迷していることに加え日本向けの受注も苦戦したことで、現地通貨ベースで減収となり、利益面も回復基調には至りませんでした。その一方、インドネシア子会社は、インドネシア国内向けに順調に売上を拡大したことに加えて、積極的にコスト削減に取り組んだ成果により、営業利益が大幅増となり、染色加工事業全体における営業利益の増益に寄与しました。

## （テキスタイル販売部門）

テキスタイル販売部門の売上高は1,363百万円（前年同期比12.6%減、196百万円減）となりました。国内は新規顧客の開拓などユニフォームや資材用途向けの販売強化を進めましたが、衣料用途向けの販売が落ち込んだ結果、減収となりました。またインドネシア子会社においても日本や欧米向けの販売を伸ばすことができず、テキスタイル販売部門全体で減収となっております。

## ②縫製品販売事業

縫製品販売事業は、売上高1,033百万円（前年同期比29.2%増、233百万円増）、営業利益20百万円（前年同期比72.6%増、8百万円増）となりました。

同事業は、インドネシア一貫生産に加えて、昨年より円安対策として開始したバングラディッシュ生産を活用して、取り扱う素材・商品を増やしつつ日本の客先に積極的に拡販を進めたことで売上を伸ばし増益を確保しております。

## ③保育サービス事業

保育サービス事業は、売上高895百万円（前年同期比10.3%増、83百万円増）、営業利益20百万円（前年同期は営業損失5百万円）となりました。

同事業は、主力の企業・病院内の保育所運営に関わる売上が保育所数の増加もあり順調に伸びたことで増収となりました。コスト面では保育士の安定確保のため採用費用等の増加がありましたが、直営店を中心に保育所の運営と業務の効率化を進めた成果と増収効果により、収益力が回復し、黒字転換しております。

#### ④倉庫事業

倉庫事業は、売上高132百万円（前年同期比6.2%減、8百万円減）、営業利益1百万円（前年同期比84.6%減、6百万円減）となりました。

同事業は、国内染色加工事業における商量減少に伴い荷役取扱量が減少し、経費圧縮に努めましたが、減収減益となりました。

#### ⑤その他事業

当セグメントには、機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業が含まれており、売上高は108百万円（前年同期比6.2%減、7百万円減）、営業利益は51百万円（前年同期比5.9%減、3百万円減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、14,898百万円（前連結会計年度末比2.8%減、433百万円減）となりました。これは主に受取手形及び売掛金の減少565百万円、仕掛品の増加32百万円、商品及び製品の増加26百万円等によるものです。

負債は、8,564百万円（前連結会計年度末比5.1%減、460百万円減）となりました。これは主に支払手形及び買掛金の減少270百万円、短期借入金の返済による減少52百万円、退職給付に係る負債の減少67百万円等によるものです。

純資産は、6,334百万円（前連結会計年度末比0.4%増、26百万円増）となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益による増加126百万円、配当金の支払による減少136百万円、投資有価証券の時価評価に伴うその他有価証券評価差額金の増加13百万円、為替換算調整勘定の減少31百万円、非支配株主持分の増加43百万円等によるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期連結累計期間の業績結果に加え、第3四半期以降の当社グループを取巻く経営環境の見通しを勘案し、結果、平成28年3月期通期連結業績予想につきましては、平成27年5月11日公表の業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更  
(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,700,425	1,682,489
受取手形及び売掛金	4,210,177	3,645,150
商品及び製品	287,239	314,007
仕掛品	328,534	360,880
原材料及び貯蔵品	437,227	461,575
繰延税金資産	79,706	77,737
その他	170,524	187,449
貸倒引当金	△48,814	△64,090
流動資産合計	7,165,021	6,665,200
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,449,846	1,413,584
機械装置及び運搬具(純額)	1,791,235	1,891,044
土地	1,805,206	1,801,746
建設仮勘定	14,308	23,632
その他(純額)	468,866	426,524
有形固定資産合計	5,529,463	5,556,532
無形固定資産		
その他	42,604	46,012
無形固定資産合計	42,604	46,012
投資その他の資産		
投資有価証券	2,213,186	2,220,381
繰延税金資産	53,596	57,864
その他	335,574	359,678
貸倒引当金	△7,001	△7,001
投資その他の資産合計	2,595,357	2,630,923
固定資産合計	8,167,425	8,233,468
資産合計	15,332,446	14,898,668

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,184,388	1,913,411
短期借入金	1,926,360	1,873,779
未払法人税等	40,535	64,150
賞与引当金	175,990	187,581
役員賞与引当金	3,000	—
その他	1,073,007	1,063,718
流動負債合計	5,403,282	5,102,641
固定負債		
長期借入金	1,039,628	999,786
役員退職慰労引当金	13,303	14,696
退職給付に係る負債	1,374,323	1,306,793
資産除去債務	39,269	39,714
その他	1,154,865	1,100,705
固定負債合計	3,621,389	3,461,696
負債合計	9,024,672	8,564,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,300,000	4,300,000
資本剰余金	1,400,151	1,400,120
利益剰余金	920,059	910,128
自己株式	△393,818	△394,306
株主資本合計	6,226,391	6,215,942
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558,999	572,990
為替換算調整勘定	△686,404	△717,935
退職給付に係る調整累計額	△170,853	△159,486
その他の包括利益累計額合計	△298,257	△304,432
非支配株主持分	379,640	422,820
純資産合計	6,307,774	6,334,330
負債純資産合計	15,332,446	14,898,668



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	7,589,884	8,008,964
売上原価	6,606,359	6,728,532
売上総利益	983,525	1,280,431
販売費及び一般管理費	789,573	908,946
営業利益	193,952	371,484
営業外収益		
受取利息	2,162	1,722
受取配当金	20,534	22,168
為替差益	6,688	—
有価証券評価益	14,634	—
雑収入	17,832	6,410
営業外収益合計	61,852	30,301
営業外費用		
支払利息	20,991	20,239
為替差損	—	49,887
雑支出	12,072	19,294
営業外費用合計	33,064	89,421
経常利益	222,739	312,365
特別利益		
投資有価証券売却益	—	12,070
特別利益合計	—	12,070
特別損失		
減損損失	36,979	—
特別損失合計	36,979	—
税金等調整前四半期純利益	185,760	324,436
法人税、住民税及び事業税	51,406	88,411
法人税等調整額	△4,107	18,899
法人税等合計	47,299	107,310
四半期純利益	138,460	217,125
非支配株主に帰属する四半期純利益	56,455	90,789
親会社株主に帰属する四半期純利益	82,005	126,335

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	138,460	217,125
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	66,257	13,990
為替換算調整勘定	△17,854	△51,974
退職給付に係る調整額	4,613	7,594
その他の包括利益合計	53,016	△30,388
四半期包括利益	191,477	186,736
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	136,768	119,915
非支配株主に係る四半期包括利益	54,708	66,820

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	185,760	324,436
減価償却費	203,091	217,806
減損損失	36,979	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△76,229	△79,700
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	5,640	15,280
賞与引当金の増減額 (△は減少)	36,896	11,591
受取利息及び受取配当金	△22,697	△23,891
支払利息	20,991	20,239
為替差損益 (△は益)	△15,628	46,937
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△12,070
売上債権の増減額 (△は増加)	606,329	527,307
たな卸資産の増減額 (△は増加)	39,004	△102,202
仕入債務の増減額 (△は減少)	△309,457	△243,565
未払費用の増減額 (△は減少)	△9,647	14,257
その他	62,118	△138,917
小計	763,151	577,506
利息及び配当金の受取額	22,697	23,891
利息の支払額	△21,488	△20,578
法人税等の支払額	△71,333	△64,576
営業活動によるキャッシュ・フロー	693,026	516,242
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△1,466
有形固定資産の取得による支出	△121,684	△223,827
投資有価証券の取得による支出	△29,462	—
投資有価証券の売却による収入	—	25,660
その他	7,906	329
投資活動によるキャッシュ・フロー	△143,240	△199,304
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△284,327	△112,946
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△271,261	△279,649
社債の償還による支出	△30,000	—
リース債務の返済による支出	△71,018	△72,734
配当金の支払額	△102,223	△136,478
非支配株主への配当金の支払額	△18,723	△23,640
その他	102	△518
財務活動によるキャッシュ・フロー	△477,452	△325,968
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,842	△8,836
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	68,491	△17,866
現金及び現金同等物の期首残高	1,507,753	1,587,717
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,576,244	1,569,851

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	5,967,410	709,802	811,635	2,695	7,491,543	98,341	7,589,884	—	7,589,884
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,338	90,107	—	138,570	230,016	17,332	247,349	△247,349	—
計	5,968,748	799,909	811,635	141,265	7,721,559	115,674	7,837,234	△247,349	7,589,884
セグメント利益又は 損失(△)	124,514	11,828	△5,912	7,104	137,536	55,186	192,722	1,230	193,952

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,230千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	染色加工	縫製品 販売	保育 サービス	倉庫	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	6,074,459	944,496	895,369	7,493	7,921,819	87,144	8,008,964	—	8,008,964
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,588	88,712	—	124,983	215,284	21,373	236,657	△236,657	—
計	6,076,048	1,033,208	895,369	132,476	8,137,103	108,518	8,245,621	△236,657	8,008,964
セグメント利益	275,654	20,420	20,990	1,095	318,160	51,914	370,074	1,410	371,484

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントである機械販売事業、システム事業及び、付随事業である不動産賃貸事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額1,410千円は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 平成27年4月の組織変更に伴い、第1四半期連結会計期間より縫製品販売事業の一部を染色加工事業に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。